

営農情報(令和5年10月)

作成・監修 勝浦町農業振興推進班

■温州みかん

◇着果管理

樹上選果は、収穫前に商品価値のない極小果、極大果、奇形果、日焼け果、傷果などをあらかじめ摘果する作業です。これらの果実を残しておく、収穫運搬、保管選別、出荷に労力を要するものの加工原料となり、不要な出費を強いられます。収穫前まで園地を見回り樹上選果を行い、青果率の向上と経費の削減に努めましょう。

■ゆず

◇収穫・予措

- ・収穫適期は、10月中旬～11月中旬となる。
- ・用途別の着色程度は、短期貯蔵(冬至用含む)は5～7分着色、長期貯蔵は4～6分着色、貯蔵せず青果として出荷するものは完全着色で収穫する。
- ・加工用(搾汁)の収穫は、少し緑が残った7分着色が搾汁率が高く、酸濃度と香りの高いものがとれる。
- ・ゆずは果皮が軟弱なため、貯蔵用は予措が必須であり、冬至用貯蔵は3%程度、長期貯蔵の場合は常温予措で5%、高温予措で6～8%が目安となる。

■カンキツの施肥

- ・秋肥は、なり疲れによる樹勢の回復と耐寒性の向上、翌春に発生する新梢や花の形成を促進する効果がある。地温が低下してしまう前に施用する。(10a当たり)

| 種類 | 施用時期 | 窒素成分量(kg) | 肥料名(例) | 施用量(kg) |
|----------|-----------|-----------|------------|---------|
| 極早生温州 | 10月上+11月上 | 5+5 | 特A805号 | 50+50 |
| 早生温州 | 10月下旬 | 10 | 〃 | 100 |
| 普通・高糖系温州 | 11月上旬 | 10 | 〃 | 〃 |
| すだち | 10月中旬 | 7 | ニューグリーンすだち | 50 |
| ゆず・ゆこう | 10月中旬 | 7 | ゆず配合 | 60 |

【10月の病害虫防除】

温州みかん

| 時期 | 対象病害虫 | 薬剤名 | 希釈倍数 | 収穫前日数 | 使用回数 |
|------------------------------|----------|--------------|-------|-------|------|
| 発生時 | ミカンハダニ | ダニオーテ(フ)または | 3,000 | 前日 | 1回 |
| | | オマイト(水) | 750 | 7日 | 2回以内 |
| (オマイトは薬害回避のため、10月下旬以降に使用する。) | | | | | |
| 発生時 | カメムシ類 | スタークル(顆) | 2,000 | 前日 | 3回 〃 |
| 収穫前 | 腐敗防止(早生) | ベフラン(液)25または | 2,000 | 前日 | 3回 〃 |
| | | ベンレート(水) | 4,000 | 前日 | 4回 〃 |

すだち

| | | | | | |
|-----|-------|-----------|----|---|---|
| 収穫後 | かいよう病 | ICボルドー66D | 50 | — | — |
|-----|-------|-----------|----|---|---|

ゆず

| | | | | | |
|-----|---------------|----------------|-------|----|--------------|
| 収穫前 | 貯蔵病害 (固着剤) | ベフトップジン(フ) または | 1,500 | 前日 | あわせて 2回以内 |
| | | ベフラン(液)25 | 2,000 | 前日 | |
| | | (アピオン-E) | 1,000 | | |
| 発生時 | カメムシ類 | スタークル(顆) | 2,000 | 前日 | 3回 〃 |

かき

| | | | | | |
|-----|-------|-------------|-------|----|------|
| 発生時 | カメムシ類 | スタークル(顆)または | 2,000 | 前日 | 3回 〃 |
| | | アクトラ(顆) | 2,000 | 3日 | 3回 〃 |

【10月に植え付ける野菜】

■ にんにく

- ・上海早生の場合、植付は9月下旬～10月上旬。
- ・種球は、リン片を1片ずつはずし大玉を用いる(5g以上)。
- ・定植前日にリン片を12時間程度、水に浸けておく(発芽を揃えるため)。
- ・リン片を直立にし、5cm程度覆土する
- ・植付後、雑草発生前に除草剤散布(ゴーゴーサン(乳)またはトレファノサイド(乳))。

■ エンドウ

- ・播種時期は10月中旬～11月中旬。
- ・連作を嫌うので4～5年間隔で輪作する。
- ・本葉2～3枚ごろが最も耐寒性が強い。越冬時に生育が進みすぎると寒害を受けやすくなるので、その場合は防寒対策を施す。株間は25cm程度。

■ そらまめ

- ・播種時期は10月下旬～11月上旬。
- ・連作を嫌うので3～4年間隔で輪作する。
- ・オハグロを下にして、タネが見えなくなる程度に覆土する。株間は40cm程度。
- ・鳥害の予防や生育を揃えるためには、ポットで育苗するのが望ましい。
- ・生育初期からアブラムシの防除を心がける(例:アドマイヤー(フ)またはモスピラン(顆))。

【10月の病害虫防除】

| | 対象病害虫 | 薬剤名 | 散布濃度 | 収穫前日数 | 使用回数 |
|----------------------|-------------------------|---|------------------|----------------|---------------|
| ナバナ | アブラムシ類 | スタークル(顆)または パダンSG(水溶) | 3,000倍 1,500倍 | 収穫3日前 収穫7日前 | 2回以内 3回 // |
| | コナガ | アフーム(乳)または ノーモルト(乳) | 1,000倍 2,000倍 | 収穫7日前 収穫7日前 | 2回以内 1回 |
| | ハスモンヨトウ | プレバソン(フ)5 または コテツ(フ) | 2,000倍 2,000倍 | 収穫前日 収穫3日前 | 3回以内 2回 // |
| だいこん はくさい キャベツ | 軟腐病 | ICボルドー66D | 100倍 | — | — |
| | アブラムシ コナガ ハスモンヨトウ | ※薬剤は上記「なのはな」準ずるが、収穫前日数、使用回数については、それぞれ農薬のラベルで確認すること。 | | | |



<お問い合わせ先>

勝浦町農業振興推進班

勝浦町農業振興課42-1505 JA営農振興課088-538-7180 徳島農業支援センター088-626-8768